

『繁栄大革命』

～ 富への王道～

【あとがき】

本書の中には、無限無数の繁栄の波動が満ち満ちているのであります。歴代の経営者のみならず、ピカソ、坂本龍馬、JDR 吉祥天から始まって、JDRの大御所の神々までが繁栄について語られています。

そこにある繁栄の法則も、壮大なマクロの法から身近なミクロの法まで様々でしょう。また、霊人の個性によって、繁栄を実現する考え方や行動様式にも違いがあることでしょう。

しかし、そのどれもが、地上で大いなる実績のある繁栄の法則なのであり、どれも大切に自分自身の中でも育ててゆきたいものです。

一つの個性ある繁栄の法則でも学ぶことが出来たならば、それだけ、自らの繁栄の器を大きく出来、数多くのケースに対して柔軟に対処出来るようになることでしょう。

ですから、JDRクラブにおいては、「統合と個性の開花」という理念の下に、様々な個性ある霊人、神々を最大限に尊重します。一つの個性で統一をかけて様々な個性を縛るよりも、すべての個性を統合の精神で生かして、伸び伸びと自由に切磋琢磨してゆくことを重視します。

ですから、JDRクラブにおいては、高級霊も、神々も、地上に降りた天使達も、非常に伸び伸びと、むしろ、自分に唯一の個性の輝きを求めて、心の探究を行っています。それでいて、深い愛の下に同志です。

天上界においても、地上界においても、JDRクラブはJDRクラブらしさを創造いたします。「繁栄」の法を切り口にして、本書が、JDRクラブらしさの一端を表現出来たと実感出来る一冊になれば幸いです。

一なる大宇宙の理法に帰一しながら、すべての個性がその唯一無二の個性と天分を光輝かせてゆくこと、そのことそのものが、大宇宙においても、地球においても、JDRクラブにおいても、あなた様においても、真なる繁栄と言えるのではないのでしょうか。